



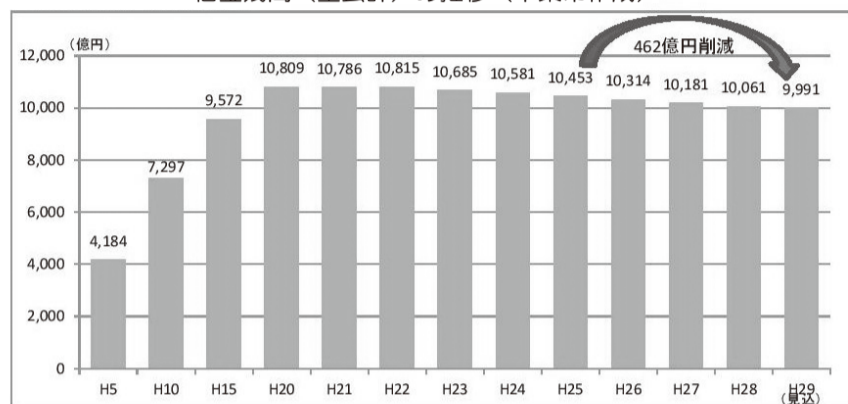
# 市民ネットワーク 千葉市議会2017年第3回定例会(9月5日～9月29日)

## 松井かよ子の市議会報告

### 2016年度決算を認定

「脱・財政危機」宣言の解除  
市民も市も努力した結果です

借金残高(全会計)の推移(千葉市作成)



#### 市が借金を抱えた理由

25年前(1992年)、千葉市は人口急増にあわせて政令指定都市に移行しました。これにふさわしいまちづくりをするため、市は多額の借金をして身の丈以上の都市基盤(下水道・道路・土地)整備をしました。その後、経済状況の悪化で税収が落ち込み、返済が思うようにできなくなり、財政危機に直面しました。

#### 財政危機の脱出に向けて

2007年に夕張市の財政破綻がありました。千葉市もそのままでは国の関与が予想されました。「自分たちのまちのことが、自分たちで決められなくなる」事態です。現市長の下、2009年10月「脱・財政危機」宣言が出されました。

#### 市民も巻き込んだ財政再建

その後8年間、計画に基づいて市は財政再建に取り組みました。職員給与の削減、家庭ごみ指定袋(緑色・透明)によるごみ処理手数料の徴収、コミュニティセンターの有料化、モノレール延伸計画の見直しなど市民にも理解を求めながら努力してきました。結果、各種指標が改善され、危機を脱したとの判断から、今年9月「脱・財政危機」宣言が解除されました。

#### 依然として財政は厳しいが…

とはいえ、借金は未だ1兆61億円(市民1人あたり約104万円)にのぼります。市民ネットワークとしては、今後も返済を進めながら、市の将来を担う子どもたちへの支援を充実させるなど、バランスのとれた財政運営を求めました。

### 議会トピックス

TOPICS

稲毛海浜公園が民間事業者の提案に基づいてリニューアルされます。市に帰属するインフラ(白砂、ウッドデッキ、照明、トイレ、ビーチなど)の整備費用として、約24億円が予算化されました。海辺の活性化として議案には賛成しましたが、今後、無駄遣いはないか、市民が使いやすいかなどの観点から計画を注視していきます。



稲毛記念館がホテルに



市民ネットワーク 市議会議員  
岩崎明子 渡辺忍 松井かよ子



ブログ

「松井かよ子のあれこれみはま」



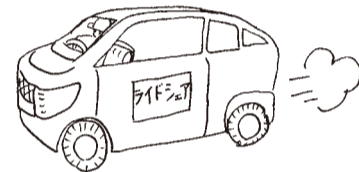
### 松井かよ子の一般質問から

#### 市民の声を受け止めて！ 石炭火力発電所新設計画について

中央区蘇我の地元説明会では「今でも粉塵で汚れる」などの発言がありました。環境被害に苦しむ市民の切なる思いを真摯に受け止め、市として事業者の計画に厳しく意見するよう求めました。

**所有者不明の土地が問題に** 税や維持の負担感で「親の家を相続したくない」「子どもに継がせられない」「手続きが面倒だ」などの声が聞かれます。「物納」は市税ではできず、「寄付」も難しいケースが多いとのこと。今後、相続登記が行われない所有者不明の土地・家屋が増加し、まちづくりの妨げになる恐れもあります。「不動産」が「負動産」にならないよう、土地の活用、相続、納税、エンディングなどの総合的な相談窓口を設置するよう求めました。

**ライドシェアの導入を** 国家戦略特区を活用したライドシェア(相乗り交通)の検討を求めました。海外ではウーバーなどが事業展開していますが、旅行客の足を確保するだけでなく、住民の移動手段の確保にもつながります。



### 戦争の話聞かせてください

日本では「平和」が当たり前の時代が続いてきました。しかし憲法改正を目前に、ふつうの暮らしが壊れる危機が迫っています。今こそ、身近な体験者の語りを受け止め、次世代に「戦争しない国」を引き継ぐ責任があると考えます。

市民ネットワークは戦争体験を記録化し、広く子どもたちや市民が見られるようにすることを市に向けての予算要望の中などで提案しています。核のない世界に向けて、地道な活動をされている千葉市原爆被爆者の会の方からお話を聞きました。

#### 原爆の日、長崎にいました

長崎の郵便局で昼は仕事をし、夜は学校に通う15歳でした。1945年8月9日の昼前「ピカッ」とオレンジ色の光が郵便局の窓ガラス一面に広がり、その瞬間、身を伏せました。言葉では例えようがない光景でした。それからの記憶は曖昧です。「バリバリ」と雷をいくつも重ねたような音が響いていました。屋外では爆風であらゆるものが飛ばされ、煙が立ち上り、昼だというのに空が真っ黒でした。「怖い」しか記憶がなく、どのように家まで帰ったのかも覚えていません。

#### 私は運がよかった

原爆では「どこにいたか」で運命が決まりました。学徒動員され軍需工場に働いていた友達は帰ってきませんでした。元気に帰って来た人たちも、その後次々と亡くなりました。今でも「死んだ友達に会いたい」と思います。72年間、日々感謝しながら生きてきました。

#### 争いではなくつながりを

戦争は武器を持って戦うことではありません。一般市民をも巻き込む殺し合いです。恨みやねたみで国同士が相手を刺激し、争いを煽るのではなく、お互いの欠点を認め合いながら、話し合うことができないうか、人と人がつながるように、国と国とつながることができないうかと思えます。